

性感染症



性感染症って？

性行為により感染する病気のことです。症状を感じにくいものもあるため、感染して気づかないでいると、知らない間に体が蝕まれていきます。

どのように感染するの？

性行為によって、細菌・ウイルスを含む分泌液（精液、膣分泌液など）、血液などに直接接触することで、粘膜や傷口から感染します。（膣性交、口腔性交、肛門性交）

「たった一度の性行為でも」…性感染症に感染することがあります。

お風呂や回し飲みなど日常生活では感染しません！

どうすれば予防できるの？

★セックスしない

不特定多数や見知らぬ相手とは性行為はしない。

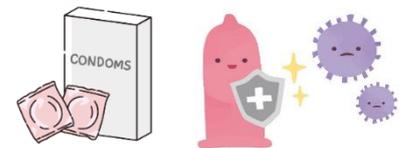
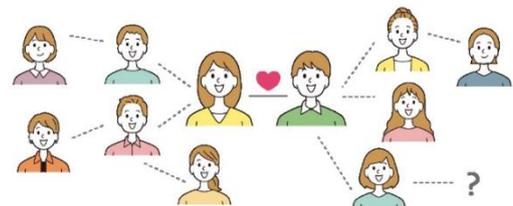
★安全なセックス

今は特定の相手しかいなくても、過去に他の人と性的接触があれば感染の可能性があります。

ふたりとも感染がないことを確かめておくことが大切です。

★より安全なセックス

コンドームを正しく使うことが、性感染症の予防に有効です。



知らずに放っておくと…

ほとんどの性感染症は自然に治ることはありません。からだの中で病気は進行します。

治療しないでいると、骨盤内炎や肝周囲炎など重症化、また不妊の原因にもなります。



性感染症は早期発見・早期治療が大切！
早期に治療を始めることで重症化を防げます。



♥ ほとんどの性感染症は、早めにきちんと治療すれば治ります。治るまで、確実に治療しましょう。

♥ 性感染症は、検査で分かります。気になったら医療機関を受診・相談しましょう。

♥ いくつかの性感染症については、保健所で匿名・無料の検査が受けられます。

➡ https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/seikansensho/inspection_consultation/index.html (東京都性感染症ナビ)

🍀 一人で悩まないで・・・お住いの保健所で相談ができます。電話による相談窓口について

➡ https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/inful_consult.html (厚生労働省)



それぞれの病気について

★梅毒



近年患者が増加傾向であり、2022年の患者数は過去最多となりました。20～50歳代男性と20歳代女性の患者数が急増しています。

発疹やただれなどが出たり消えたりしている間に病気が進行しています。症状が落ち着くことがあるため放置しやすくなるので要注意です。治療しないまま数年～数十年と進行すると、心臓、血管、神経の異常が現れることがあり、時には死に至ります。



★性器クラミジア

日本で最も多い性感染症です。自覚症状がない場合が多いですが、女性はおりものが黄色くなり増える、軽い生理痛のような痛み、不正性器出血など。男性は尿道のむずがゆさ、排尿時の軽い痛みがあります。進行すると不妊・流産や母子感染などの原因になることがあります。免疫はできず、何度も感染します。



★性器ヘルペス

性器に潰瘍や水泡ができることがあります。一度感染すると治った後も神経節に潜伏するので、免疫力が低下したときに何度も再発します。口唇ヘルペスのウイルスが、オーラルセックスなどで性器にも感染することがあります。

★尖圭コンジローマ

性器にイボができることがありますが、自覚症状がない場合もあります。免疫はできず、何度も感染し、しばしば再発します。予防ワクチンがあります。

★淋病

男性は性器から黄色のうみ、激しい痛みがあります。女性は症状に気がつくにくく気付かないうちに進行し不妊症の原因となることもあります。感染した母体より出産した新生児が淋菌性結膜炎になることがあります。免疫はできず、何度も感染します。

★HIV・エイズ (AIDS)

HIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染後、未治療なら数年～10年以上症状のない期間を経て AIDS(後天性免疫不全症候群)を発症し、健康な時にはかからない弱い病原体によって色々な病気が引き起こされ死に至ることも。性行為だけでなく母子感染、血液を介しての感染もあります。



★その他感染症について

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/seikansensho/index.html> (東京都性感染症ナビ)

<https://www.hivkensa.com/sti/> (厚生労働省：これって性感染症?)

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學